

< 学力調査 >

国語A
(主として知識にかかわる問題)

成果が見られる
おおむね達成され
ている主な設問

- ・登場人物の言動の意味を考え、内容を理解する
- ・奥付の特徴や役割を理解する
- ・相手や場に応じた言葉遣いに気を付けて話す
- ・全体と部分の関係に注意して話を構成する
- ・文脈に即して漢字を正しく読む
- ・歌に表れた作者の思いを想像する

国語B
(主として活用にかかわる問題)

課題が見られる
主な設問

- ・文章を読み返し、文の使い方などに注意して書く
- ・辞書を活用し、漢字が表している意味を正しく捉える

主な改善策

- ・自分の伝えたい事柄が明確になっているか、読み手の立場に立って確認する学習の一層の充実
- ・辞書を用いて、辞書的な意味について確認するとともに、文脈における意味についても捉える学習の一層の充実

数学A
(主として知識にかかわる問題)

- ・不等式の意味を読み取ることができる
- ・2つの統合で結ばれている方程式が表す関係を読み取り、2つの2元1次方程式で表すことができる
- ・平行線や角の性質を用いて、角の大きさを求めることができる
- ・三角形の合同条件を理解している

数学B
(主として活用にかかわる問題)

- ・与えられた情報から必要な情報を適切に選択し、処理することができる
- ・問題場面における考察の対象を明確に捉えることができる

- ・数量の関係を文字式に表すことができる
- ・具体的な事象における2つの数量の関係が、反比例の関係になることを理解している

- ・与えられた情報から必要な情報を選択し、数学的な表現を用いて説明することができる
- ・与えられた式を用いて、問題を解決する方法を数学的に説明することができる

- ・数量の関係を数直線や図に表すなどして関係を捉え、それを文字式に表す学習の一層の充実
- ・具体的な事象の中から2つの数量を取り出し、それらの変化や対応の様子を調べる学習の一層の充実

- ・目的に応じて資料を整理し、資料の傾向を読み取り、解決の構想を立てる学習の一層の充実
- ・文字を用いて処理した式を読み取り、処理の手順を数学的に考察する学習の一層の充実

< 質問紙調査 >

肯定的な回答の
割合が高い設問

- ・朝食を毎日食べる、毎日同じ時刻に起きる
- ・家庭学習で宿題に取り組んでいる
- ・友達と話し合うとき、友達の話や意見を最後まで聞く
- ・学校で友達と会うのは楽しい
- ・学校の規則を守る、友達との約束を守る
- ・いじめはどんな理由があってもいけないことだと思う、人の気持ち分かるようになりたい、人の役に立つ人間になりたい
- ・物事を最後までやり遂げてうれしかったことがある

肯定的な回答の
割合が低い設問

- ・ノートに学習の目標（めあて・ねらい）とまとめを書いている
- ・友達の前で自分の考えや意見を発表する
- ・家で授業の予習をする
- ・地域の行事に参加している ・新聞を読んでいる

その他

- ・1日に2時間以上テレビやビデオなどを視聴する・・・30.9%
- ・1日に2時間以上テレビゲームをする・・・28.4%
- ・1日に1時間以上勉強をする・・・69.1%

< 学力向上に向けた今後の取組 >

1 「分かる」「できる」を実感させる授業づくり

- ・日々の授業の改善充実 ～ 主体的な学習活動を促す「学習課題」の明確化
学習内容を確実に身に付ける「まとめ・振り返り」の工夫
互いの授業を見合い研鑽を深める校内研修の一層の充実
- ・数学科、英語科における少人数指導、チーム・ティーチングの一層の充実

2 将来の夢や希望をもって意欲的に学習に取り組むキャリア教育の推進

- ・各学年における発達段階に応じた上級学校や職場での体験学習等の充実
- ・体験活動、奉仕活動による地域の人々との交流を通じた地域社会への関心の促進
- ・自己の生き方について考える活動の充実

3 基本的な生活習慣（学習習慣を含む）の確立

- ・「明星 夢 DIARY」による自己の生活の見直しや計画的な家庭学習の促進、家庭との連携
- ・「明星中学校区小中連携教育推進会議」等による義務教育の9年間を通じた、生活習慣・学習習慣づくりの推進